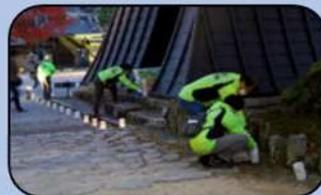


# 東近江市のまちづくり協議会

## 令和5年度 各地区の取り組み



共に考え共に創る



# まちづくり協議会のあゆみ

## ◇東近江市の誕生

平成17年2月11日に1市4町(八日市市・永源寺町・五個荘町・愛東町・湖東町)が合併。  
その後、平成18年1月1日に蒲生町・能登川町と合併し、現在の形になりました。

平田	市辺	玉緒	御園	建部	中野	八日市
9.60 km <sup>2</sup>	7.50 km <sup>2</sup>	11.90 km <sup>2</sup>	10.00 km <sup>2</sup>	4.20 km <sup>2</sup>	5.30 km <sup>2</sup>	1.90 km <sup>2</sup>
1,068世帯	1,619世帯	2,054世帯	4,199世帯	1,257世帯	3,324世帯	3,141世帯
2,898人	3,863人	4,802人	8,874人	3,015人	8,132人	6,124人
12自治会	14自治会	17自治会	21自治会	19自治会	25自治会	46自治会

総人口112,209人  
47,003世帯  
390自治会  
自治会加入率73.6%  
(令和5年10月1日現在)



南部	永源寺	五個荘	愛東	湖東	能登川	蒲生
2.20 km <sup>2</sup>	181.2 km <sup>2</sup>	16.26 km <sup>2</sup>	40.89 km <sup>2</sup>	26.53 km <sup>2</sup>	31.12 km <sup>2</sup>	34.64 km <sup>2</sup>
3,888世帯	1,902世帯	4,796世帯	1,652世帯	3,104世帯	9,437世帯	5,562世帯
7,896人	4,805人	11,625人	4,339人	8,222人	23,361人	14,253人
14自治会	36自治会	27自治会	23自治会	39自治会	55自治会	42自治会

※自治会数については、単位自治会の数

## ◇まちづくり協議会の誕生

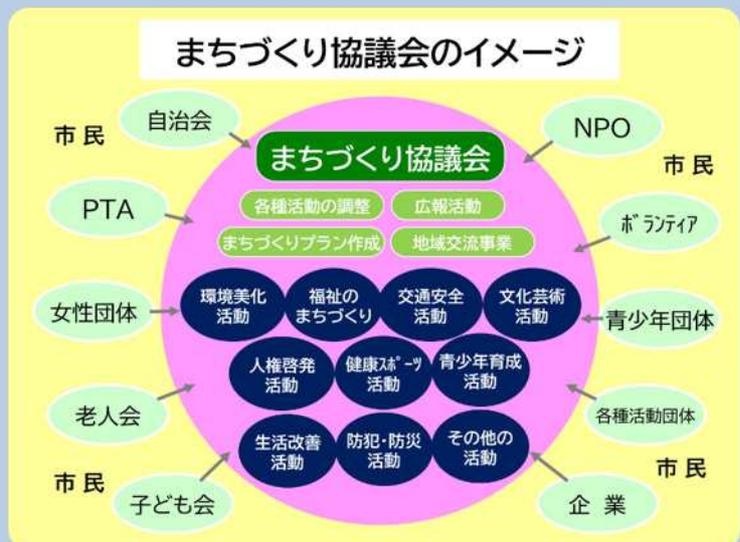
合併することにより、行政サービスの低下、各地区の個性や伝統文化が失われることが懸念されました。

そこで、市民が自主的に参加して、それぞれの地域課題を解決し、各地域の個性を活かしたまちづくりを行うため、東近江市の14地区すべてで「まちづくり協議会」が組織されました。

平成26年4月に「協働のまちづくり条例」が施行され、その中で、まちづくり協議会の位置づけ等も定められました。

まちづくり協議会は、まちづくりに包括的に取り組む団体として、また、行政の重要な協働のパートナーとして、ますます活躍が期待されています。

現在、14地区全てのまちづくり協議会が、各地区にあるコミュニティセンターを拠点として活動しています。



## ◇まちづくり協議会の設立日及びコミュニティセンター指定管理開始日

協議会名	協議会設立日	コミュニティセンター 指定管理開始日
平田地区まちづくり協議会	平成17年 12月23日	平成23年 1月1日
市辺地区まちづくり協議会	平成19年 2月25日	平成23年 10月1日
玉緒地区まちづくり協議会	平成18年 12月10日	平成24年 1月1日
御園地区まちづくり協議会	平成18年 10月21日	平成24年 10月1日
建部地区まちづくり協議会	平成18年 2月25日	平成23年 10月1日
中野地区まちづくり協議会	平成18年 12月9日	平成24年 4月1日
八日市地区まちづくり協議会	平成18年 12月2日	平成24年 4月1日
南部地区まちづくり協議会	平成17年 9月19日	平成23年 4月1日
永源寺地区まちづくり協議会	平成17年 9月30日	平成26年 4月1日
五個荘地区まちづくり協議会	平成18年 3月18日	平成25年 4月1日
愛東地区まちづくり協議会	平成17年 5月21日	平成24年 10月1日
湖東地区まちづくり協議会	平成17年 7月14日	平成24年 4月1日
(一社)能登川地区まちづくり協議会	平成19年 3月10日	平成24年 4月1日
蒲生地区まちづくり協議会	平成18年 11月18日	平成25年 4月1日

※ (一社)能登川地区まちづくり協議会は、平成25年4月1日に法人化されました。

## ◇東近江市協働のまちづくり条例（抜粋）

(まちづくり協議会)

第18条 まちづくり協議会とは、地区の課題解決と個性を生かしたまちづくりに取り組むため、多様な主体が参加して自主的に設置する地域自治組織をいう。

2 市は、次の各号の要件を満たすまちづくり協議会を、一地区について一団体を認定するものとする。

- (1) 地区自治会連合会等の多様な主体が参画し、地区のまちづくりに包括的に取り組んでいること。
- (2) 地区のすべての市民を対象としていること。
- (3) 民主的な運営を行うため、規約を定めていること。
- (4) 地区のまちづくりの基本方針等を定めた「地区まちづくり計画」を策定していること。

(5) 運営に当たる役員や代表者は、民主的に選出されたものであること。

(6) 運営の透明性が確保されていること。

3 市は、まちづくり協議会の認定後、前項に規定する要件を満たしていないと認めた場合は、改善を求めなければならない。

4 市は、まちづくり協議会の活動を尊重し、技術的及び財政的援助等の必要な支援を行うものとする。

5 市民は、まちづくり協議会の活動に積極的に参加し、相互の交流を深めながら協働するものとする。

6 まちづくり協議会は、地区の課題を解決するため、市及びその他の組織と協働してまちづくりを推進するものとする。

7 まちづくり協議会は、各地区コミュニティセンターをまちづくりの拠点とし、市と協働して運営するものとする。

## ● 平田地区まちづくり協議会

(愛称) ひらた夢回議

(テーマ、スローガン) 平田地区で、誰もが住み続けたい、住んでみたくなるまちづくり

【令和5年度】

設立日	平成17年12月23日	認定日(当初)	平成18年1月16日
コミセン指定管理開始日	平成23年1月1日	認定日 (条例による認定)	平成27年4月1日
事務所連絡先	〈所在地〉 東近江市下羽田84-5 平田コミュニティセンター内 〈電話番号〉 0748-22-1950 〈IP番号〉 050-8034-1950 〈FAX〉 0748-22-1950 〈e-mail〉 hirata-co@e-omi.ne.jp 〈ホームページ〉 <a href="http://hirata-yumekaigi.com">http://hirata-yumekaigi.com</a>		
代表者	会長 増田 伊知郎	会員数	地区住民
会議・組織	本会役員 会長、副会長3名、会計、事務局長、会計監事2名 評議委員会 自治会長12名 企画運営委員会 本会役員(会計監事を除く)、特別部会長、専門部会長 地域担当職員		
予算等の概要	〈一般会計〉まちづくり総合交付金：1,376千円/その他：390千円 〈指定管理会計〉 コミセン指定管理料：14,654千円/2,346千円 雪野山歴史公園等指定管理料：4,680千円/24千円 平田体育館等指定管理料：6,800千円/63千円 〈業務委託〉地域子育て支援拠点事業運営委託料：5,149千円		
情報紙の発行	平田のみんなの情報誌「ひらたから」(A4版) 毎月発行 発行部数 1,000千部/月 主な内容 活動報告、行事案内、お知らせ 等		
指定管理や組織運営、自治連や各種団体との連携、まちづくり活動などで特にPRできること	<p>■自治会連合会との合同研修会 11月26日(日) 大津市和邇学区との包括連携協定に基づき、和邇コミュニティセンターで、合同の研修会を行った。</p> <p>■平田地区文化祭×あゆみふれあいフェスタ2023 10月29日(日) 平田コミセンと平田体育館を会場として、地区内のあゆみ作業所とコラボ開催した。</p>		
	 		

指定管理・組織運営・他団体との協働・まちづくり活動等の取り組み紹介

【若者定住】

- ・雪野山歴史公園でボールプールを楽しもう
- ・まちのわ会議「おしゃべり BBQ」開催  
若者（中学生・高校生）と「こんな平田地区になったらいいな」（6月11日）
- ・第16回水鉄砲合戦「世は戦国！雪野山夏の陣」の開催（8月6日）



【子ども・子育て応援】

- ・つどいの広場「すずかけっこ」の運営  
木育ミニパークの開催（10月21日）  
子育て相談（月1回）、等
- ・「げんきっこ・ひらた」の活動  
潮干狩り、夏祭り、映画会、クリスマス会  
餅つき大会、等
- ・ひらたロケット教室の開催（10月14日）



【高齢者福祉】

- ・第6回ひらた健康教室の開催
- ・命のバトン普及事業
- ・誰でも立ち寄れる居場所づくり
- ・困りごとを支援するしくみづくり

【田園環境】

- ・第6回「平田の田園環境」写真コンテスト
- ・地域散策ガイド事業  
里山保全団体と連携協力し、案内標識の設置や散策路の維持管理を行った。



【地域活性化】

- ・蒲生野トレイル活用事業  
11月18日（土）はじめての雪野山・瓶割山トレイルラン教室を開催した。

【公園管理運営】

雪野山歴史公園（散策路含む）・華岳山公園の管理運営を行った。

【平田体育館・平田グラウンド管理運営】

- ・平田コミセンと一体的に、体育施設の管理運営を行った。



● 市辺地区まちづくり協議会

(愛称) 万葉のまち 市辺<sup>いちのへ</sup> (テーマ、スローガン) このまちで心豊かに住みつけたい

【令和5年度】

設立日	平成19年2月25日	認定日(当初)	平成19年3月1日
コミセン 指定管理開始日	平成23年10月1日	認定日 (条例による認定)	平成27年4月1日
事務所 連絡先	〈所在地〉 東近江市市辺町2391(市辺コミュニティセンター内) 〈IP電話/fax〉 050-5802-3392 〈e-mail〉 ichi-kyo@e-omi.ne.jp 〈ホームページ〉 <a href="http://ichinobe.sakura.ne.jp/wp/">http://ichinobe.sakura.ne.jp/wp/</a>		
代表者	会長 須田 <sup>ちひろ</sup> 智廣	会員数	100名
議・組織	役員会 7名(会長・副会長3名・事務局長・コミセン業務主任者・会計) 運営委員会 29名(役員・全自治会長・各種団体代表・各専門部部長)まちづくり委員 85名 専門部 広報部 11名 自然環境部 24名 地域活力部 11名 歴史・文化部 15名 減災・安全・安心部 10名 健康・福祉部 7名 こども健全育成部 7名 市福みらい会議 座長(まち協副会長) 減災連絡会議 座長(まち協顧問)		
予算等の概要	総合交付金:1,452千円 指定管理料:13,969千円 其他収入:1,328千円		
情報紙の発行	まち協広報誌 「万葉のまち市辺」年4回発行、全戸配布 〈主な内容〉 各部活動紹介及びトピックス ・わが家の『ペット』紹介など コミセン広報誌 「市辺だより」毎月発行 ※両誌共に音声テキスト版発行 〈主な内容〉 事業開催の案内・各種活動の紹介など。特に、【市辺ふれあいフェスタ】は雨天中止のため代替事業開催。新規事業などのお知らせを号外として6回発行 Facebook 名称「市辺まちづくりセンター」/LINE 名称「市辺まち協&コミセン」		
指定管理や組織運営、自治連や各種団体との連携、まちづくり活動などでPRできること	<p>○指定管理…コロナウイルス感染予防の観点から、慎重な判断とコミセン利用の皆さんの理解協力の下、計画した各種事業は概ね100%実施。</p> <p>○組織運営…令和5年度の事業計画に基づき、役員会、運営委員会の開催、専門部会等円滑に進めました。また自治会連合会等各種団体とも連携し、大きな事業は実行委員会を組織し進めました。</p> <p>○減災活動…自治連、自主防災組織、民生委員、地区社協の参加により「減災連絡会議」を継続し、『避難行動要支援者』に対する個別避難計画の作成を全自治会で完了しました。</p> <p>○地域福祉活動…誰もが安心して暮らせる地域福祉のまちづくりを目指して「市辺の福祉を考える“市福みらい会議”」(第2層協議体)を定期的開催し、つながりアンケートの実施や冊子「市辺地域のお宝 つながり広辞縁」を発行し、全戸配布しました。また市福みらい会議広縁会を開催し、市辺地区で進める地域福祉の方向性について共有しました。</p> <p>○蒲生野万葉資料整備活動…『蒲生野・万葉ロマンの会』は万葉や蒲生野にかかわる素晴らしい歴史文化をはじめ万葉故地として発信していく取り組みを進めています。蒲生地区まちづくり協議会と市辺地区まちづくり協議会では協働して2回講演会を開催しました。</p> <p>○まちづくり専門部会の事業活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・広報部…広報紙「万葉のまち市辺」定期発行(年4回)し全戸に配布。</li> <li>・歴史文化部…歴史発見塾2回開講、布施山縦走コース整備、中山道を歩く、「市辺地域俯瞰図」原画作成委託、第10回蒲生野万葉短歌会作品募集と表彰式の開催</li> <li>・自然環境部…まちづくり農園で園児44名を招き、さつまいもの収穫体験開催、ゴーヤ苗育成と配布(グリーンカーテン)、大豆の収穫と豆腐作り、コンポスト事業の見直し</li> <li>・健康福祉部…グランドゴルフ「第2回まち協会長杯」開催、ご長寿ふれあいサロン開催</li> <li>・安全安心部…防災減災放送(毎月1日)、減災かるた出前授業、わくわくこらぼ村にてワークショップ。AED講習会開催。</li> <li>・地域活力部…八日市西小学校のグランド芝生化作業、船岡山公園除草作業、イルミネーション点灯事業協賛、蒲生野・万葉フェスタの運営</li> <li>・こども健全育成部…文化祭で「射的」ゲーム実施、蒲生野・万葉フェスタで子どもウォークラリー開催</li> </ul>		

指定管理 ・ 組織運営 ・ 他団体との連携 ・ まちづくり活動等の取り組み紹介

蒲生野万葉ロマンの会  
講演会「紫草物語」



減災連絡会議  
講演会「防災マップから学ぶ」



自然環境部  
まちづくり農園 園児 44 名「いも掘り」体験



歴史文化部

市辺歴史発見塾  
「後藤氏の重要性」講演会



「山の神について」講演会  
(DVD 作製 報告会)



「中山道を歩く」27 名



布施山縦走コース整備



歴史文化部「蒲生野万葉短歌会」表彰式



減災・安全安心部

「減災かるたの出前授業」

地域活力部

「イチナリエ点灯」



西小グランド芝生化作業



健康福祉部

GG 大会「まち協会長杯」



子ども健全育成部

「ドキドキ射的」文化祭会場



蒲生野・万葉フェスタ

ウォークラリー「船岡山公園」



## ● 玉緒地区まちづくり協議会

(愛称) ハートフル玉緒

(テーマ、スローガン) 『自然と共生し、みんなで創る輝く玉緒』



【令和5年度】

設立日	平成18年12月10日	認定日 (当初)	平成18年12月14日
コミセン指定 管理開始日	平成24年 1月 1日	認定日(条例 による認定)	平成28年 4月 1日
事務所 連絡先	〈所在地〉 東近江市大森町1030番地 玉緒コミュニティセンター内 〈電話番号〉 0748-22-6479 〈IP番号〉 050-8034-6479 〈FAX〉 0748-22-6479		
代表者	会長 川越 慶次郎	会員数	まちづくり委員 50名
会議・組織	<ul style="list-style-type: none"> <li>・まちづくり協議会 会長、副会長5名(1名は当該年度自治会連合会会長) 事務局長(コミセン館長兼務)・会計・会計監事 2名</li> <li>・ハートフル玉緒自主防犯隊(143名)</li> <li>・運営委員会 役員・専門部代表者等(20名)</li> <li>・専門部会 広報部、環境整備部、歴史文化部、安全安心部、健康スポーツ部、福祉部、子ども健全育成部、地域活動部</li> </ul>		
予算等の概要	総合交付金 1,586千円 指定管理料 14,051千円 その他収入 2,611千円		
情報紙の発行	<ul style="list-style-type: none"> <li>・まちの情報誌「ハートフル玉緒」カラー版 年3回発行 その他の月は2色刷りを発行 部数 1,500部</li> <li>・まちづくり協議会活動報告、文化・歴史・地域等の紹介</li> </ul>		
指定管理や組織 運営、自治連や 各種団体との連 携、まちづくり 活動などで特に PRできること	<p>＜まちづくり協議会活動＞</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① コミセンの指定管理に伴う、管理運営を行う。</li> <li>② 協議会が、自治連・各種団体と共に3大事業(夏祭り・スポーツフェスティバル・文化祭)の企画～運営を行っている。</li> <li>③ 「ハートフル玉緒自主防犯隊」による地域パトロールの実施。 自治連・各種団体が地域全体事業として、防犯・防災・安心の為に青パトカーによる巡回を実施。</li> </ol> <p>＜部会活動＞</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 広報部 地域の情報発信「ハートフル玉緒」発行、LINEでの情報発信</li> <li>② 環境整備部 里山整備、桜並木の整備、里山体験授業・里山保育の支援</li> <li>③ 歴史文化部 遺跡・伝統文化の保存継承</li> <li>④ 福祉部 住民福祉懇談会</li> <li>⑤ 子ども健全育成部 子ども体験事業</li> <li>⑥ 全体事業 夜桜ライトアップ、ハートフルコンサート</li> <li>⑦ 地域活動部 婚活紹介</li> </ol>		

## 令和5年度事業実施状況



夜桜ライトアップ（4月）



総会（5月）



桜並木の整備（6.10月）



子ども体験事業(6.9.12.1月)



住民福祉懇談会（7月）



青パト講習会（7月）



夏祭り（8月）



大森城址の整備（9月）



スポーツフェスティバル(10月)



史跡ウォーキング（10月）



文化祭（11月）



里山体験授業（11月）



里山保育（11月）



ハートフルコンサート（12月）



青パト巡回（週2日）

● 御園地区まちづくり協議会

【令和5年度】

設立日	平成18年10月21日	認定日(当初)	平成18年10月30日
コミセン指定管理開始日	平成24年10月1日	認定日(条例による認定)	平成27年4月1日
事務所連絡先	<所在地>東近江市 五智町351-2 御園コミュニティセンター内 <電話番号・FAX> 0748-22-0503 <IP電話> 050-8034-0503 <E-mail> misono-c@e-omi.ne.jp (御園コミュニティセンター内)		
代表者	小椋 善治	会員数	地区住民全員
会議・組織	役員会 6人(会長、副会長、事務局長 会計、会計監事2名) 運営委員会 16人(役員、自治会正副会長、企画委員) 企画委員会 11人(会長、副会長、事務局長、企画委員) まちづくり会議 (自治連役員、各種まちづくりの活動組織、市関係者など) 会議: 総会1回、運営委員会4回、企画委員会8回、まちづくり会議1回 活動: 防犯パトロール事業、子ども体験事業、学校支援事業、健康寿命推進事業、ふれあい事業など		
予算等の概要	一般会計 総合交付金: 2,005千円/その他: 20千円 指定管理会計 コミセン指定管理料: 13,943千円/その他: 346千円		
情報紙の発行	・広報誌【まち協みその】A4版4~8ページ 毎月発行 発行部数2,200部/回 まち協、自治連、コミュニティセンター、各種団体の情報紙として発行。 ・主な内容: まち協、自治連、各種団体、ボランティアグループ、コミュニティセンターなどの活動紹介や講座PR、まちの話題など。		
指定管理や組織運営、自治連や各種団体との連携、まちづくり活動などで特にPRできること	・ <b>まちづくり活動</b> : 2030年までのまちづくり計画を作成。御園地区で大切にしたい事を次の五つの基本方針にとして取り組んでいます。 1) 健康: 健康で楽しいまちづくり 2) 子ども: 子供を軸に共に学び育つまちづくり 3) 高齢者: 生き生きと暮らせるまちづくり 4) 防犯・防災: 安心して暮らせるまちづくり 5) 交流: 交流でにぎわいあふれるまちづくり また、やりたいこと、できることで活躍できる地域となるよう関係者間のネットワーク構築を進めており、今年度は地域のふれあいを促進するため新しいイベントとして健康フェスティバル、秋まつりを行いました。運営を以前の自治会中心からボランティア中心に変え、前者では9団体、後者では17の団体個人に参加いただきそれぞれが協同、連携してイベント盛り上げて頂きました。 また次々に生まれる小さな思いやアイデアを育てるため、コミュニティセンターを中心に活動支援を強化しています ・ <b>組織運営</b> : 御園地区まちづくり会議を開催、地域で活動するすべての団体が集まり、活動の共有や意見交換をする全体会議として、テーマごとに役割分担や協働について意見交換を行うことで良いコラボレーションが生まれています。 ・ <b>指定管理</b> まちづくり協議会と自治会連合会の事務局をコミュニティセンターが担う事でコミュニティセンターをまちづくりの拠点とした活動が出来ています。		

# 指定管理・組織運営・他団体との協働・まちづくり活動等の取り組み紹介

## 令和5年度活動紹介

### 1、御園地区まちづくりの推進

御園地区まちづくり会議の開催



令和6年2月18日(日)まちづくりの健康、子ども子育て、高齢者、安心安全、交流の五つの課題に取り組む20団体が一堂に集まり、活動報告と意見交換を行うまちづくり会議を開催

### 2、自治連との連携

高齢者見守りと災害時避難計画作成の合同研修会の開催



令和5年3月5日(日)開催

### 3、健康寿命を延ばす活動（健康専門家会議）

3-① 健康講座の開催



令和5年6月21日(水)「健康に生活し続けるための講座」を開催

3-② 健康手帳を発行



健康手帳を発行



血圧計・握力計を設置

### 4、子ども体験・交流事業



令和5年6月25日(日)「かきみそのCIAOの電車でお出かけパート6」信楽陶芸村へ



令和5年9月16日(土)「かきみそのCIAOのこども防災体験」を開催



令和5年12月3日(日)「かきみそのCIAOのクリスマス2023」を開催



令和5年3月29日(水) 8月24日(木) 令和6年1月5日(金)子どもを支える活動(日本語・学習支援)として「マナビーみその」を開催

### 5、子どもを支える活動の推進



令和5年6月30日(金)花とみどり・コミセン共催で美園小学校児童と一緒にじゃがいも掘りを実施



令和5年10月19日(木)花とみどり・コミセン共催で美園小学校児童と一緒にさつまいも掘りを実施

### 6、防犯のまちづくり事業の推進

令和5年8月29日(火)9月2日(土)(他2回)習会を開催



毎週火曜日・木曜日に御園地域防犯ボランティアパトロール隊による地区内のパトロールを実施

### 7、地域ふれあい事業

7-① 健康フェスティバル



令和5年10月8日(日)開催

7-② 秋まつり



令和5年11月12日(日)開催

7-③ サクラまつり



令和5年4月5日(水)開催

## ● 建部地区まちづくり協議会

(スローガン)『支え合い、助け合いの郷づくり』

【令和5年度】

設立日	平成18年2月25日	認定日(当初)	平成18年3月2日
コミセン指定管理開始日	平成23年10月1日	認定日(条例による認定)	平成28年4月1日
事務所連絡先	〈所在地〉 東近江市建部日吉町 31 番地 (建部コミュニティセンター内) 〈電話番号・FAX〉 0748-22-0303 〈IP 番号〉 0505-801-0303 〈e-mail〉 tatebe-machikyo@e-omi.ne.jp		
代表者	渡辺 康雄	会員数	個人会員 61 名、団体会員 10 団体
会議・組織	評議委員会 18 名 (自治会長) 運営委員会 15 名 (地域団体代表者、まち協役員) 役員会 16 名 (会長、副会長 x3、事務局長、会計、部会長 x4、コミセン館長、地域担当職員 x6) 専門部会 4 部会 (環境美化、歴史文化、健康福祉、広報企画) 会員の範囲 (建部地区に居住する全住民で構成) ・個人会員 (本会の趣旨に賛同し、参加する個人) 61 名 ・団体会員 (自治会連合会及び本会の趣旨に賛同する地域団体) 10 団体		
予算等の概要	・一般会計 2,235 千円 (交付金 1,226 千円、自治会連合会助成金 100 千円、繰越金 758 千円、その他 151 千円) ・指定管理会計 16,758 千円 ・特別会計 0 千円		
情報紙の発行	地域の身近な情報誌として「建部だより」を毎月 1 回発行 (年 12 回) A4 版 4 頁 (カラー) 発行部数 1,000 部/回		
指定管理や組織運営、自治連や各種団体との連携、まちづくり活動などで特に PR できること	<ol style="list-style-type: none"> <li>まち協役員会および推進体制             <ol style="list-style-type: none"> <li>役員会は 11 名で構成します。 役員会には地域担当職員 6 名が交代で参加します。</li> <li>役員会の活性化 役員会を毎月第 2 火曜日に開催します。議論を活性化させ、効率良く行うため、会議資料を充実させています。</li> </ol> </li> <li>自治連、各地域団体との連携             <ol style="list-style-type: none"> <li>自治会連合会の会長がまち協の副会長に就任することで、自治会連合会との連携を深めています。</li> <li>まち協の企画・運営および総会提出議案について意見を求めるため、全自治会長で構成する評議委員会を必要に応じ開催します。</li> <li>10 の地域団体長とまち協役員が、まち協の運営に関し定期的に協議します。</li> </ol> </li> <li>定期総会を 5 月 24 日に集会形式で開催しました。</li> <li>コミュニティセンターの指定管理の進捗状況             <ol style="list-style-type: none"> <li>指定管理の開始から 13 年目を迎え、地域住民の身近な施設として、また地域の皆さんに気軽に利用していただくため、開かれた施設運営を目指して取り組んでいます。</li> <li>コミセン本館の外壁塗装工事をを行いました。</li> </ol> </li> </ol>		

## まちづくり活動等の取り組み紹介

### 1. 建部里まつりの開催

河辺いきものの森で里まつりが開催され、親子連れら多くの人で賑わいました。木のジャングルジム、ターザンロープ、シャボン玉遊びや体験コーナー、森でのランチやカフェを楽しみました。(6月4日)



建部里まつりシャボン玉遊び

### 2. 環境美化事業への取り組み

- ①植栽箇所およびポケットパークの草刈作業を年2回実施しました。(6月17日、10月7日)
- ②愛知川左岸堤防のごみ拾いを実施しました。(12月3日)
- ③遊休畑を活用しさつまいもを植えました。(5月3日)  
秋には親子さつまいも掘り体験会を行い、楽しく過ごしました。(10月9日)



さつまいも掘り体験会

### 3. 歴史文化事業への取り組み

- ①聖徳太子薨去 1400 年記念参画事業として、瓦屋寺プロジェクトを立ち上げ、参道整備事業に取り組みました。(令和3年11月~令和5年10月の2年間)
- ②瓦屋禅寺特別大開帳を応援するため、延命うどんの販売を行いました。また、住職の講演会や瓦屋禅寺の石段を歩くふるさとウォークを実施しました。(11月3日)
- ③歴史探訪として、日吉大社参拝と坂本の歴史的町並みを散策しました。(2月24日)



瓦屋禅寺参道整備

### 4. 健康福祉事業への取組み

- ①子ども見守り活動の一環として、毎月2回、4カ所でまち協会員による交通立番を行っています。
- ②チャリティゴルフ大会を開催し、チャリティ募金を建部地区社会福祉協議会に寄附しました。(5月25日)
- ③ニュースポーツを通じて高齢者の健康を増進するため、「ヘルシースポーツクラブ」を立ち上げました。  
月2回ディスコンやスローイングピンゴを楽しみました。(6月~11月)



大開帳イベント

### 5. 広報活動への取り組み

- ①建部の歴史と文化、コミセン、まち協、各地域団体の活動状況を広く知ってもらうため、「建部だより」を毎月発行しています。
- ②建部の良さをPRするため、新たな広報誌を令和6年4月に発行するよう準備しています。



子ども見守り活動

### 6. まちづくり懇談会の開催

建部地区の課題に対して、東近江市幹部のみなさんと建部自治連およびまち協役員が意見交換を行いました。(11月13日)

### 7. サマーフェスタ(7月24日)、スポーツレクリエーション祭(10月8日)、町民祭(11月12日)を実行委員会形式で開催しました。

### 8. まちづくり活動の裾野を拡げるための取り組み

「まちづくりのために何かをやりたい」と思っている個人やグループに対し、まちづくり協議会が人的および資金的支援を行う「まちづくり活動支援制度」を令和4年度より実施しています。

この制度を活用した、出産子育て支援の両親教室が開催され、出産を控えたご夫婦が参加されました。



子育て支援活動の両親教室

## ● 中野地区まちづくり協議会

(愛称) なかのよいまち

(テーマ、スローガン) 『みんなでつくる なかのよいまち』

【令和5年度】

設立日	平成18年12月9日	認定日 (当初)	平成18年12月14日
コミセン 指定管理開始日	平成24年4月1日	認定日(条例 による認定)	平成28年4月1日
事務所 連絡先	〈所在地〉東近江市中野町781番地5(中野コミュニティセンター内) 〈電話番号・FAX〉0748-22-0154 〈IP番号〉050-5802-2311 〈e-mail〉nakano-c@e-omi.ne.jp(中野コミュニティセンター)		
代表者	代表 廣田 博文	会員数	地区内全住民
会議・組織	○組織 役員30名(代表、副代表、事務局長、幹事、会計、会計監事) 運営委員会 約28~30名程度(代表、副代表、事務局長、幹事、会計、各種PJ代表等) まちづくり委員名 約50名(自治会選出、公募委員、含む兼任、地域担当職員) 総会構成人員(まちづくり委員、自治会長、各種団体長、市担当職員) ○会議(総会・運営委員会・円卓会議・各種プロジェクト) ○まちあるきプロジェクト ○歴史探訪プロジェクト ○山と川保全推進プロジェクト ○50年森整備事業プロジェクト ○広報委員会 ○椋の木保全プロジェクト ○地域福祉を進めるプロジェクト ○婚活事業 ○地域交流型マルシェ(もろてーな市) ○西広場整備事業プロジェクト ○子ども食堂(なかのごはん)プロジェクト 等		
予算等の概要	<一般会計>まちづくり総合交付金 : 1,748千円/その他: 862千円 <特別会計>コミセン指定管理料 : 14,231千円/その他: 869千円		
情報紙の発行	中野地区まちづくり協議会広報誌(なかのよいまち)4A版フルカラー4ページ 年4回(6・9・12・3月)発行、発行部数3,500部/回 <主な内容>まち協事業、コミセン事業、関連団体事業、まち協総会報告、地域に身近でホ ットなニュース(新店舗の紹介・特産品の紹介・サークル紹介) 等		
指定管理や組織 運営、自治連や 各種団体との連 携、まちづくり 活動などで特に PRできること	<p>中野地区の総合的なまちづくりを目指して、まちづくり協議会の発足準備段階から続け てきた、毎月7日開催の「円卓会議」で語り合う場を大切にしています。本協議会のテー マである「みんなでつくるなかのよいまち」実現に向け、地域福祉の充実も目指し、地区 社協と第2層協議体の運営や活動に力を注ぎ、地区自治会連合会やまちづくり委員、各種 団体、福祉団体と連携した、「なかのよいまち大en会(随時)」や「なかの福祉のまちづく り座談会(随時)」を共催するなど、協働のまちづくりを展開してきました。</p> <p>令和5年5月には、新型コロナウイルス感染症が感染症指定の第5類になったため、地 区内を中心に多くの地域住民の皆様に参加していただける、事業の展開ができました。</p> <p>このような中、整備を継続している50年森においては、昨年につき「第2回ありがと う50年森フェスタ」を開催し「ステージショー・ワックショップ・森の体験・マルシェ コーナー」等に多くの地域住民の来場を得ました。</p> <p>なお、コミセン西広場においては整備事業の一環として「紫陽花の捕植(随時)」を引き 続き行い「憩いの場」の提供を進めているところです。また、子供の居場所づくり「なか のごはん(子ども食堂)12回」の毎月定例開催、地域交流として「もろてーな市(随 時)」の定期的な開催、「わくわくこらぼ村」の参画や「地区内スポーツ少年団への激励」 等、地域住民の福祉の向上や、活性化に向けて様々な活動を行ってきたところです。</p>		

指定管理・組織運営・他団体との協働・まちづくり活動等の取り組み紹介



50年森保全PR  
イベント



ありがとう  
50年森フェスタ



↑顔みて しゃべって おすそわけ  
ますます盛況！地域交流型マルシェ  
「もろてーな市」

毎月開催  
子ども食堂「なかのごはん」



子ども「非常食クッキング」



各活動成果紹介 &  
ステージ発表  
中野地区文化祭



FBにて発信中



## ● 八日市地区まちづくり協議会

【令和5年度】

設立日	平成18年12月2日	認定日(当初)	平成18年12月5日
コミセン指定管理開始日	平成24年4月1日	認定日(条例による認定)	平成28年4月1日
事務所連絡先	<p>〈所在地〉 東近江市八日市町9-20 八日市コミュニティセンター内          〈TEL・FAX〉 0748-23-4120 〈IP電話〉 050-8034-1141          〈e-mail〉 8comi920@e-omi.ne.jp 〈HP〉 www.8comi920.online</p>       		
代表者	代表 浦根悦夫	会員数	全住民が対象
会議・組織	<p>執行役員会 年2回(代表、副代表2人、常任理事4人、事務局長、会計、コミセン館長、地域担当職員)          理事会 年2月回(総自治会長6人、コミセン部会5人、プロジェクト部会11人、会員より3人、広報委員2人、地域担当職員)          広報委員会 年4回(編集委員長1人、委員11人)          プロジェクト:延命夢クラブ、箕作山麓里・山づくり、八日市冒険遊び場、花いっぱい、いきいきあったかサロン、子育て支援、八日市つながり、清水川湧遊、防災、歴史文化、まち鉄</p>		
予算等の概要	<p>一般会計 1,465千円          指定管理会計 17,120千円          特別会計 3,760千円</p>		
情報紙の発行	<p>八日市まち協だより A4版4ページ 年4回発行 発行部数2400部/回          主な内容:まち協の活動報告、わがまち探訪、きらり~この人~、八日市ピンポイント、各プロジェクトの活動報告、あれやこれや</p>		
指定管理や組織運営、自治連や各種団体との連携、まちづくり活動などでPRできること	<p>歴史文化プロジェクトで作成した「八日市ふるさと絵屏風」は、高齢者サロンでの「絵解き講座」が好評です。八日市ふるさと絵屏風の本物を持ってサロンを訪問し、賑やかだった八日市の町並みを見て、昔話に花が咲いていました。</p> <p>令和4年度から立ち上がったまちづくりと近江鉄道について考える「まち鉄プロジェクト」は、8月11日から15日に「ようこそ八日市ふるさと絵屏風の世界へ vol.2」を開催したほか、近江鉄道の「ガチャフェス」に協賛して飛行場線廃線跡ウォーキングを実施しました。</p> <p>八日市コミュニティセンターでは、夏に開催していた子どもサマーフェスティバルと秋のコミセンまつりを融合したイベントとして「八日市コミセンフェスティバル」を開催しました。また、運動会に代わるイベントとして、「体にいいことフェスティバル」を開催しました。</p> <p>3年に及ぶコロナ禍ではありましたが、いったん立ち止まって新しい事業を創出できたと考えています。</p>		



## ● 南部地区まちづくり協議会

(愛称) ときめく南部(まち)

(テーマ、スローガン) 『誰もが笑顔で暮らし、活力あふれるまち』

【令和5(2023)年度】

設立日	平成17年9月19日	認定日(当初)	平成17年10月17日
コミセン指定管理開始日	平成23年4月1日	認定日 (条例による認定)	平成28年4月1日
事務所連絡先	<所在地> 東近江市沖野二丁目1番34号 南部コミュニティセンター内 <電話番号・FAX> 0748-23-1573 <IP番号> 050-8034-1573 <e-mail> nanbumachikyo@e-omi.ne.jp		
代表者	会長 森 基一	会員数	71名
会議・組織	役員会5名(会長、副会長2名、事務局長、会計)(内副会長1名は自治連会長) 運営委員会14名(役員、専門部会長(兼務有)コミセン館長、地域担当職員) 評議委員会30名(役員、地区内自治会長14名、各種団体長10名) 拡大運営委員会 運営委員全員の範囲 趣旨に賛同する個人、各自治会からの推薦者、各自治会(団体会員)		
予算等の概要	<一般会計> まちづくり総合交付金: 1,639千円/その他: 792千円 <指定管理会計> コミセン指定管理料: 14,242千円/その他: 1,218千円		
情報紙の発行	1. まち協会員向けA4両面版広報紙「ホットニュース」毎月25日発行事業日程並びに参加案内・イベント案内等 2. 南部地区内総合広報紙「南部だより」毎月発行に実施事業案内及び地区内外の情報提供		
指定管理や組織運営、自治連や各種団体との連携、まちづくり活動などで特にPRできること	まちづくり協議会の活動(第3次まちづくりビジョン) 1、地域住民間の交流と連帯 地域住民間の親睦や交流を図り、コミュニティづくりを進める。 ○南部まつり(6月)の協賛・南部みんなの秋まつり(11月)の実施○地域住民福祉活動計画の一環「ほっとまちカフェ」の運営(毎月7日)○地域学校協働本部事業との連携「みなみっこがくしゅう会の実施」○南部ふれあいフリーマーケットの開催(9月・12月・3月) 2、地域問題の解決と住み良い環境づくり 安心・安全なまちづくり、住みよい環境づくりを進める。 ○再資源可能物(リサイクル品の回収) ○休耕田を活用し野菜栽培を通じて、地域の児童等とのふれあいを深める ○交通安全運動(交通安全立ち番月2回)子ども達への挨拶運動 ○地域美化活動として毎月一回道路沿いのゴミ清掃 ○命のバトンの配布事業 ○「防災を考える会」の開催(7月、12月、2月) 3、コミュニティセンターの管理運営 コミュニティセンターを核としたまちづくりを進める。 ○まちづくりの核としてのコミュニティセンターの管理運営		

指定管理・組織運営・他団体との協働・まちづくり活動等の取り組み紹介

### 1. コミュニティセンターの運営管理

- ・コミュニティセンター内外環境の整備、維持管理  
駐車場及び芝生広場の整備
- ・各種コミセン事業の実施  
社会教育、高齢者講座  
(スマイルセミナー他)  
家庭教育：青少年教育  
(なんぶっ子、すこやかキッズ)



### 2. 少子高齢化時代に役立つ地域風土づくり

- ・南部未来会議への参加 (※南部地区住民福祉活動計画協賛)
- ・老若男女が集える場づくり  
「ほっとまちカフェ」の開設  
「子どもカフェあおぞら」と連携
- ・命のバトン配布事業の推進



### 3. 住みよいまちづくりの推進

- ・資源ごみの分別収集を推進し環境意識の向上と、再資源化の協力を進める
- ・あびこ（挨拶・美化・交通安全）活動の継続展開  
「南部地区、防災を考える会」の発足
- ・八日市南小学校芝生の維持管理活動  
(まち協と有志による支援活動)



### 4. 男女・年齢を問わず皆が集い、学び趣味を生かせる場作り

- ・愛犬家による地域パトロール
- ・「ふれあい農園」(休耕田の活用)  
で野菜の収穫体験や子ども森で  
焼き芋体験(幼児園・南部こどもの家)
- ・「みなみっこがくしゅう会」の開催  
長期休業の間2日程度、ボラン  
ティアによる学習支援活動の実施
- ・粋生サロン、小物づくりを通じた生きがづくり  
(文化祭での作品展示)



### 5. まちづくりビジョンの推進

- ・「第3次まちづくり計画」  
まちづくりのビジョンを策定し、今後の  
推進と展開を図る。

ビジョン1 出会いの場の創出

ビジョン2 まち協の魅力の発信

ビジョン3 南部地区のランド  
マーク

ビジョン4 まちづくりプラット  
フォーム

自治会や地域団体とも連携する。

南部だより等にて広報する。



## ● 永源寺地区まちづくり協議会

(愛称) We Are The One “みんなでひとつ”

(テーマ、スローガン) 『里いっぱい 新呼吸 笑顔のまち えいげんじ』

【令和5年度】

設立日	平成17年 9月30日	認定日(当初)	平成17年10月17日
コミセン 指定管理開始日	平成26年 4月 1日	認定日 (条例による認定)	平成27年 4月 1日
事務所 連絡先	〈所在地〉 東近江市山上町 1316 番地 (永源寺コミュニティセンター内) 〈電話番号〉 0748-27-1060 〈IP 番号〉 050-5802-9336 〈FAX〉 0748-27-1974 〈e-mail〉 e-net6500@e-omi.ne.jp 〈ホームページ〉 <a href="http://members.e-omi.ne.jp/e-net6500/">http://members.e-omi.ne.jp/e-net6500/</a>		
代表者	会長 福井 均	会員数	70人
会議・組織	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運営委員会 (三役、監事、部会長、各種団体長、会長が指名した者) … 年間 5 回開催</li> <li>・三役会 (会長、副会長、事務局長) … 随時開催</li> <li>・三役、部会長会 … 随時開催</li> <li>・専門部会 (6 部会) … 随時開催</li> </ul>		
予算等の概要	総合交付金 2,996,000円 指定管理料 31,497,000円 その他収入 4,104,000円		
情報紙発行	e-NET6500 年 6 回発行 A4/最大 12 頁 カラー (現在: No.113) (まちの話題、まちきょうだより、クローズアップ 他) e-NET6500 (情報版) 毎月発行 A4/4 頁 白黒 (現在: No.226) (イベント等告知、くらしのカレンダー、学校・園だより、コミセンだより他) ホームページ 随時更新		
指定管理や組織 運営、自治連や 各種団体との連 携、まちづくり 活動などで特に PRできること	<p>「自らの地域は自ら考え自ら行動していく」を基本に、地区の伝統文化を再発見し継承していくと共に、次代を担う人材を地域の子育て団体と協力し、地域に活力を生み出す、そんなまちづくりを目指しています。</p> <p>今年度は、コロナ感染症が5類となり少し下火にもなったことから、コロナ以前の事業も企画し、計画どおり実施することが出来ました。</p> <p><b>○地域の良さを再確認し、継承していく取組み</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・千草街道を往く</li> <li>・大本山永源寺ライトアップ</li> <li>・きらり！永源寺再発見講座</li> </ul> <p><b>○環境にやさしいまちづくりへの取組み</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭ごみのリサイクル活動 (ペットボトルキャップ、アルミ缶プルトップ、使用済割り箸の回収)</li> <li>・大型金属資源回収 (東部、中部、西部の3会場で実施)</li> </ul> <p><b>○情報紙などを通じて地域連携を深め、地域間交流の推進を図る取組み</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・みんなの夏休み</li> <li>・みんなのふるさと祭り</li> <li>・まちづくりフォーラム</li> </ul> <p>※地域固有の資源を活用して事業活動を行なうことにより、地域の良さを住民みんなで共有し、地域に対する誇りと愛着心の醸成につなげていこうと考えています。</p>		

## 指定管理・組織運営・他団体との協働・まちづくり活動等の取り組み紹介

※より多くの住民の皆さんが参画しやすい組織にするため、事業やイベントを企画・運営について、各自治会や各種団体等と連携を密にし、互いに協力し合い活動をしています。

※平成26年4月1日より永源寺コミュニティセンターを指定管理しており、コミュニティセンター事業と連携したまちづくりに取り組んでいます。

### ◎まちづくり協議会の活動紹介

#### ★環境にやさしいまちづくり活動

◇ごみゼロ運動大作戦



◇寄せ植え教室



◇リサイクル活動



◇大型金属資源回収



#### ★誰もが笑顔で暮らせるまちづくり活動

◇子育てお母さん交流



◇おせちのお届け



◇介護施設訪問



#### ★次代を担う人材を育むまちづくり活動

◇婚活事業「田舎 de 縁結び」

◇わくわく来楽部活動

#### ★地域の活性を生み出すまちづくり活動

◇シロヤシオ群の観察



#### ★誰もが安心して暮らせるまちづくり活動

◇地区内学校施設の除草作業

◇大本山永源寺ライトアップ



◇コミュニティ防災講座



#### ★文化が薫る個性あるまちづくり活動

◇フィールドワーク「千草街道を往く」



◇情報誌の発行



#### ★地域活性化事業および他団体との連携事業

◇みんなの夏休み



◇スポーツフェスタ



◇みんなのふるさと祭り



◇まちづくりフォーラム

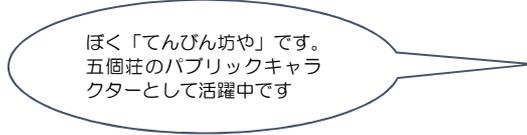


## ● 五個荘地区まちづくり協議会

(愛称) GO!まち協

(テーマ、スローガン) 心イキイキはつらつと みんなが愉しむまちづくり

【令和5年度】

設立日	平成18年3月18日	認定日(当初)	平成18年3月23日
指定管理 開始日	平成25年4月1日	認定日 (条例による認定)	平成27年4月1日
事務所 連絡先	<p>〈所在地〉 東近江市五個荘小幡町318 (五個荘コミュニティセンター内)          〈電話番号〉 0748-48-7303                      〈IP番号〉 0505-801-7303          〈FAX〉 0748-48-6454                      〈e-mail〉 go-machikyo@e-omi.ne.jp</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">               ホームページ         </div> <div style="text-align: center;">               Facebook  </div> <div style="text-align: center;">               LINE  </div> </div>		
代表者	小杉 勇	会員数	地区住民全員
会議・組織	<p>役員会 7人(会長、副会長、事務局長、館長)          運営委員会 20人(役員、相談役、各事業部正副部長、有識者)          事業部会 安心・安全部会9人、環境部会14人          歴史・文化部会11人、地域福祉部会16人、情報誌部会7人          自治会推薦まち協推進員48人          地域担当職員9人、地域イベント協力隊87人          構成員 五個荘地区に在住、在勤する全ての人と地域の活動団体</p>		
予算等の概要	<p>〈一般会計〉まちづくり総合交付金 2,909千円/その他2,791千円          〈指定管理会計〉コミセン指定管理料 30,142千円/その他 4,158千円</p>		
情報紙の発行	<p>まちづくり情報誌「GO!まち協」 A4版8ページ 偶数月 6回発行          発行部数4千部/回          〈主な内容〉特集、まちの話題、ひと・まち・団体の紹介、行事予定 他</p>		
	<p>令和5年度については、「まちづくり2030プラン」から          1.「観光のまちづくり」をさらに進めて行くため、中山道五個荘にぎわい事業委員会、東近江トレイル実行委員会、東近江市観光物産課、東近江市観光協会等との連携を深め、「観光のまちづくり」を目指します。また、中山道散策ツアーの実施計画を具現化し、観光客や来訪者との交流を図り地域の活性化を進めてまいります。</p> <p>2.「健康・子育て・福祉のまちづくり」の推進については、地域ボランティア団体が主体とする「コミュニティ ただいま おかえり食堂」の開始と、事業継続に五個荘地区社会福祉協議会連携のもと協力と応援をしております。          また、学校運営協議会との連携を図るなかで、地域の子どもたちの未来を地域のみんが考える活動の実践を進めてまいります。</p> <p>3.「人・地域とのつながり」を深めていくための活動として、中学生からお年寄りまでの性別にかかわらず自由に参加でき、様々な課題について自由に発言し意見を述べあえる円卓会議(ラウンドテーブル)を開催し、地区内における課題の整理を進め事業の具現化を図ってまいります。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: center;"> <div style="width: 60%;"> <p>【協働事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・東近江トレイル実行委員会                      里山保全活動の3団体、健康推進団体と協働し、エコツーリズム事業の充実やびわ湖東近江 SEA TO SUMMIT を支援します。                      観光事業の促進・地元経済の活性化を目指します</li> </ul> </div> <div style="width: 35%; text-align: center;">  <p>ほく「てんびん坊や」です。              五個荘のパブリックキャラクタールとして活躍中です</p>  </div> </div>		

指定管理・組織運営・他団体との協働・まちづくり活動等の取り組み紹介

◆優良自主防災組織表彰受賞

- ・わがまち協働大賞 入賞
- ・今日からキミも防災レンジャーで賞 受賞



◆五個荘地区総合防災訓練

(共催：五個荘中学校・自治会連合会・他)



◆防災視察研修

(共催：五個荘地区自治会連合会  
於：福井市防災センター)



◆生ごみ減量化

ダンボールコンポスト講習会開催(年2回)



◆大型金属資源回収(年3回)

(延べ107人ボランティア参加・7.8t回収)



◆五個荘ごみゼロウォーク

てんびんの里ふれあいウォーク協働開催



◆まち協農園

小学生親子対象 さつまいも植付・収穫体験



◆中山道五個荘散策案内所

街道を行く(中山道を中心に紹介)  
滋賀県移住促進オンラインセミナー



◆「GO!まち協」発行

偶数月 年6回発行



◆「第2回五個荘中央公園桜まつり」

共催：東近江市商工会青年部五個荘支部  
桜並木に250張の提灯を灯し桜を楽しみました。



ステージショー



◆認知症・行方不明者早期発見 保護訓練

共催：五個荘地区自治会連合会



◆「てんびんの里ふれあい広場 2023」



江州音頭 総踊り



◆コミュニティセンター事業

ロビー展示  
「木地師のふるさと展」



「みんなのひな祭り展」



◆東近江トレイル実行委員会

びわ湖東近江 SEA TO SUMMIT  
ハイクコース支援



織山コース  
草木の芽吹きツアー



夏休み勉強会



デコ巻寿司講座



## ● 愛東地区まちづくり協議会

(愛称) 愛の田園(まち)ネット

(テーマ) 人を愛し、ふるさとを愛し、みんなが元気で、楽しいまちづくりと若者の出番づくりを創る(演出する)まちづくり

### 【令和5年度】

設立日	平成17年5月21日	認定日(当初)	平成17年7月21日
コミセン 指定管理開始日	平成24年10月1日	認定日(条例による認定)	平成27年4月1日
事務所 連絡先	〈所在地〉 東近江市下中野町431番地(愛東コミュニティーセンター内) 〈電話番号〉 0749-46-2270 〈IP番号〉 050-5802-8614 〈FAX〉 0749-46-2270 〈e-mail〉 machineto@e-omi.ne.jp 〈ホームページ〉 <a href="http://members.e-omi.ne.jp/machinet">http://members.e-omi.ne.jp/machinet</a>		
代表者	会長 吉岡 登	会員数	96人(団体・自治会含む)
会議・組織	役員 8人(会長・副会長・監事・事務局長・顧問) 運営委員会 24人(役員・専門部会長・地域担当職員・支所職員等) 評議委員 22人(自治会長) まちづくり委員(自治会各1人) 【専門部会】 広報部・防災部・地域ふれあい部・花づくり部・文化活動部・福祉プロジェクト・イベントサポートプロジェクト・愛のまち交流プロジェクト (新規) あいとう元気なまちづくりプロジェクト・映画のまちプロジェクト		
予算等の概要	総合交付金: 2,629千円 指定管理料: 27,900千円 その他収入: 3,042千円		
情報紙の発行	元気なまちづくり情報誌「愛の田園(まち)だより」 A4版8ページ 毎月発行 発行部数1,400部 〈主な内容〉 表紙(イベント等の写真)・地域の話・イベント案内・各部会報告・愛東支所だより・愛のまちクイズコーナー・コミセン企画案内・図書館コーナー・コミセン教室・講座・スポーツ等の予定・平和祈念館情報・コミセン花の歳時記・俳句コーナー・愛東診療所だより・編集あれこれ・広告 等		
指定管理や組織運営、自治連や各種団体との連携、まちづくり活動などで特にPRできること	愛東コミュニティーセンターをまちづくりの拠点とし、自然に恵まれ、人々の心のやさしいこのまちで、「ここに住んでいる皆さんが、より一層住んで良かったと言われるまちづくり」を目指して活動を行ないました。 愛の田園づくり計画の見直し、夏と秋の二大祭り、新たなプロジェクトの推進等を重点活動とし取り組みました。 また、まちづくり懇談会等について、まちづくり三者合同会議で協議し、地区内の自治会連合会及び行政(支所)と連携を行ないました。 新たに、「あいとう元気なまちづくりプロジェクト」と「映画のまちプロジェクト」を設置し、愛東を元気にする活動が始まりました。		

## 指定管理・組織運営・他団体との協働・まちづくり活動等の取り組み紹介

### 1 コミュニティーセンターの管理運営

「つどう」「まなぶ」「むすぶ」をテーマに、次の3つの運営方針で教室やイベント等を行ないました。

#### まちづくり三本柱

#### ① あいとうの個性をつくる

愛東のよさ（自然・歴史・施設）を再発見する地域づくり

#### ② 生きがいをもちエンジョイする

幼児から高齢者までが、年齢に応じて学ぶ生涯学習

#### ③ コミュニティーをつくる

活動をとおして、互いがつながり、助け合う地域福祉

### 2 安心して暮らせるまちづくり

防災部は、防災のことを子どもたちに伝える活動、命のバール点検、防災啓発活動、能登半島地震義援金活動等を行ないました。

福祉プロジェクトは、命のバトンの取組み、研修会開催等を行ないました。

### 3 地域住民間の交流の場づくり

地域ふれあい部は、夏まつりと秋のまつりの二大イベント開催、まち協サンプタ実施、イルミネーション設置等を行ないました。

イベントサポートプロジェクトは、祭りやイベント等の交流の場を盛上げるためバザーを行ないました。

### 4 個性あるまちづくり

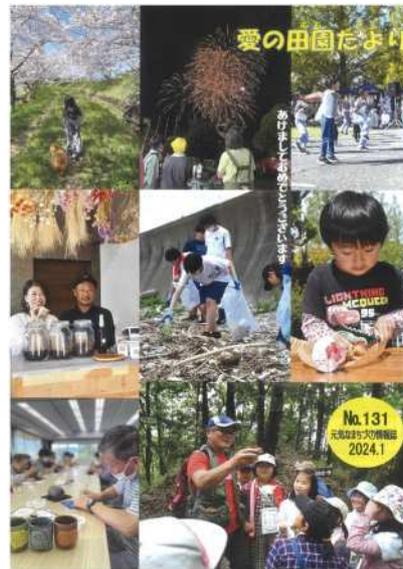
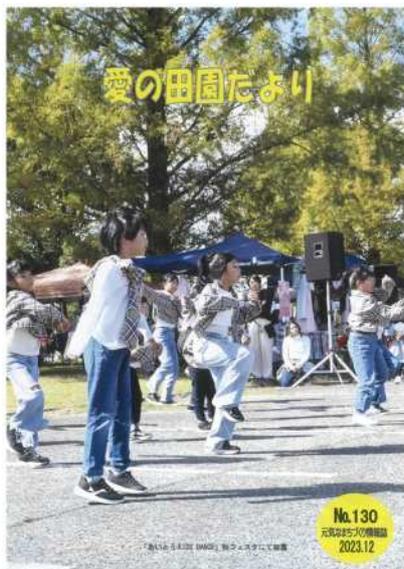
花づくり部は、「あいとう花街道」継続活動、ハイブリッドプランター設置、自治会との協働した花作り活動等を行ないました。

文化活動部は、コミュニティーセンターで小さな美術館、ロビーライブ、文化展等を行ないました。

愛のまち交流プロジェクトは、北海道愛別町との交流活動（愛別町の子どもの受入・愛別きのご祭りへの参加・バレンタインカード作り等）を行ないました。

あいとう元気なまちづくりプロジェクトは、春のパンまつり、お惣菜マルシェ、秋のパンまつり、クリスマスランチフェア、KITCHEN CARNIVAL、ショコラ・フェア等の開催、子ども体験等により、愛東を元気にする取り組みを行ないました。

映画のまちプロジェクトは、愛東の魅力をアップするために映画「大逃亡」の制作活動を行ないました。



## ● 湖東地区まちづくり協議会

(愛称) 好きやねん湖東

(テーマ、スローガン) いきいき ほのほの あったか 湖東時間



【令和5年度】

設立日	平成17年7月14日	認定日(当初)	平成17年9月20日
コミセン指定管理開始日	平成24年4月1日	認定日(条例による認定)	平成28年4月1日
事務所連絡先	〈所在地〉 東近江市池庄町 495 番地 湖東コミュニティセンター内 〈電話番号〉 0749-45-0950 〈IP 番号〉 050-5801-0950 〈FAX〉 0749-45-2049 〈e-mail〉 suki-koto@e-omi.ne.jp 〈ホームページ〉 <a href="http://www.sukisuki-koto.jp/">http://www.sukisuki-koto.jp/</a>		
代表者	会長 小島 善雄	会員数	地区内全住民が対象
会議・組織	総会、理事会、運営委員会、まちづくり推進員会議、まちづくり計画改定 WG 部会 福祉部会、広報部会、防災コミュニティ部会、みどり環境部会、 湖東企画部会 プロジェクト 湖東歴史文化 PJ、子育て支援 PJ、こどもいきいき PJ、 福結び PJ、音楽を聴こう PJ、映画製作 PJ		
予算等の概要	〈一般会計〉 まちづくり総合交付金：3,881 千円/その他 1,132 千円 〈特別会計〉 コミセン指定管理料：31,047 千円 その他：1,942 千円		
情報紙の発行	まちづくり情報誌「好きやねん湖東」 毎月1回発行 A4 版4面 発行部数 2,700 部/月 コミュニティセンターと共同編集 〈主な内容〉 表紙には地域のトピック写真とコメント、まち協や各種団体の活動紹介や行事予定、暮らしや地域の情報、コミセン関係記事など		
指定管理や組織運営、自治連や各種団体との連携、まちづくり活動などで特に PR できること	<p>◎ 各種団体との連携</p> <p>各自治会から選出されたまちづくり推進員と防災推進員に、まち協活動のお手伝いや、部会・プロジェクトのサポートをいただいています。また、自治連はじめ各種団体の代表に、理事としてまちづくり活動全般へアドバイスをいただいています。大きなイベントの実行委員会の他、あいさつ運動・青パト巡回・いこいこ広場など各種事業でも、各種団体と連携しながら進めています。</p> <p>◎ ありがとう！コトナリエ</p> <p>合併前から 20 年に渡って湖東の夏の夜を彩ってきたコトナリエが、ファイナルを迎えました。たくさんのボランティアや団体に支えられて、イルミネーションを灯してきた 20 年でした。来場していただいた皆さまにも感謝です！6 年度からは新しい夏のイベントに衣替えしますので楽しみに！</p>  <p>◎ 持続可能なまちづくりをめざして</p> <p>前年度から準備を進めてきた「まちづくり計画」の改定に取り組みました。人口減少と高齢化にも対応した計画をまとめるため、各方面から集められた WG (ワーキンググループ) の面々は悪戦苦闘。出来上がりはさて……？</p>		

## 夏休み子どもの居場所づくり



昨年開催したまちのわ会議で出た「夏休み中に、学童に通っていない子どもにも集まれる場があったらいいなあ」という意見がさっそく実現！ 準備期間が短かったにもかかわらず、集結したボランティア・スタッフが知恵となけなしの体力をふり絞って大奮闘！ 「みんなで作るみんなの夏休み」をキャッチフレーズに、のべ 127 名の子どもたちが、さまざまな企画をエンジョイしてくれました。もちろん勉強も……してたかな？



ボランティア先生が大活躍！



プロの指導で木工体験！



巨大シャボン玉づくりに挑戦！

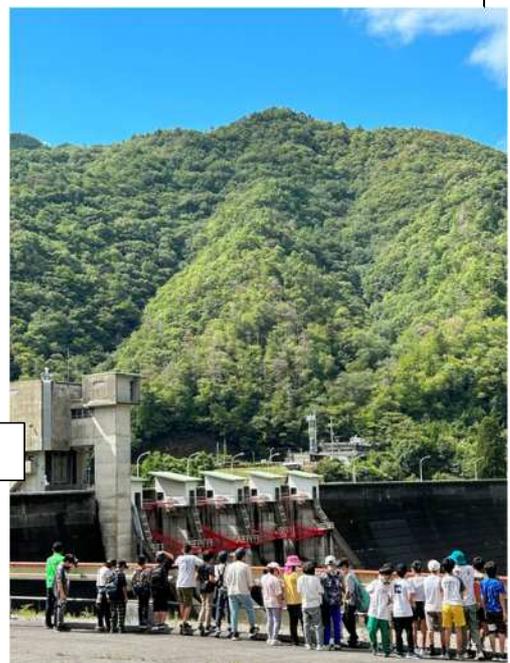


ノリノリだぜイエーイ！



↑バスでお出かけも！→

コミセンをお化け屋敷にした「ホラーナイト」も大評判だったけど、あまりにも恐ろしいので写真は載せられません！（本当は撮るのを忘れた……）



● 一般社団法人能登川地区まちづくり協議会

(愛称) ホップ♪ステップ♪のとがわ

(テーマ、スローガン) 『住みよい 住みたい 住み続けたい 水車のまち 能登川』

【令和5年度】

設立日	*平成19年3月10日	認定日(当初)	平成19年3月13日
コミセン指定管理開始日	平成24年4月1日	認定日(条例による認定)	平成27年4月1日
事務所連絡先	<所在地> 東近江市躰光寺町262番地 <IP電話番号> 050-5802-2793 <FAX> 0748-42-1556 <e-mail> notomatikyo@e-omi.ne.jp <ホームページ> http://notomatikyo.com/		
代表者	代表理事(会長) 藤居正博	会員数	265名
会議・組織			
予算等の概要	一般会計	585万9千円	
	指定管理会計	6,745万9千円	
	予算総額	7,331万8千円	
情報紙の発行	■まちの情報紙「ホップ♪ステップ♪のとがわ」8,800部/回(全戸配布) A4版6ページ(カラー4、モノクロ2)・隔月(偶数月)・発行100号達成 ■会員情報紙「のとまち協NEWS」毎月1日発行(310部会員他配布)		
指定管理や組織運営、自治連や各種団体との連携、まちづくり活動などで特にPRできること	○ 在能登川小・中・高校と総合学習他、多方面な連携(その一部記載) ・JR能登川駅前を花で飾る「フラ輪プロジェクト」活動支援(小・中) ・「防災教育」で命を守るための災害発生時の備えと対処を伝授(小) ・「びわ湖ホール声楽アンサンブル」オペラ「泣いた赤おに」公演に招待(小) ・Lighting Bell in NOTOGAWA イルミの飾り付けと模擬店運営に参画(高) ○ 住民に寄り添い地域医療発展を願う「能登川病院をよくする会」活動を支援 ○ 能登川地区住民福祉活動計画推進会議「レコードカフェ」活動を企画支援 ○ 自治会別の懇談(「まちカフェ」)を呼び掛け、課題に共に悩み考え解決へ ○ 「栗見プロジェクト」(琵琶湖岸復活大作戦)で甦る琵琶湖岸実現へ6年目 ○ 廃食用油回収・段ボールコンポスト普及でサステナブルな環境活動実施 ○ 能登川地区文化協会文化公演会「映画&講演」、「落語会」に協賛他、スポーツ協会等各種市民活動団体の事務局業務やその活動に支援や参画 ○ 「元気をつどい」はじめ、健康長寿を目指した健康推進諸活動実施。婚活も ○ R5年度策定の「能登川東小学校区地区防災計画(水害編)」に基づく「行動計画書」の活用範囲を西南北の3学区にも拡大し、防災活動の段階的進展による地域防災力向上を目指す。「水害対策」では「浸水想定3m未満地域は在宅避難で命を守る。」方策を推進し、住民自身による防災力強化を図る。		

\*2013年(平成25年)4月1日法人化 \*2015年(平成27年)11月20日現コミセン竣工式

指定管理・組織運営・他団体との協働・まちづくり活動等の取り組み紹介<写真で綴る活動紹介>

栗見プロジェクト 琵琶湖岸復活大作戦!!



高齢者の居場所づくり



駅前を花で飾る フラ輪プロジェクト



能登川南小学校総合学習のお手伝い



トップアスリートに学ぶ「子どもスポーツ教室



能登川病院をよくする会



2023 Lighting Bell in NOTOGAWA



東近江市総合防災訓練参画



オペラ「泣いた赤おに」地区の小学6年生を招待



## ● 蒲生地区まちづくり協議会

(テーマ、スローガン) 『このまちで心豊かに住み続けたいと思えるまちづくり』

【令和5年度】

設立日	平成18年11月18日	認定日(当初)	平成18年11月22日
コミセン指定管理開始日	平成25年4月1日	認定日(条例による認定)	平成27年4月1日
事務所連絡先	〈所在地〉 東近江市市子川原町461-1 蒲生コミュニティセンター内 〈電話番号・FAX〉 0748-55-3030 〈IP番号〉 050-8035-8437 〈e-mail〉 gamomachikyo@e-omi.ne.jp 〈ホームページ〉 http://www.gamoyume.org/		
代表者	会長 西村 純次	会員数	(R6.1.1現在) 14,223人
会議・組織	総会 111 (自治会代表、自治会まちづくり委員、地域活動団体代表) 役員会 5 (会長、副会長、事務局長、会計、(監事除く)) 企画会議 14 (役員、委員会委員長、専門部会部長) 運営委員会 35 (企画会議メンバー、運営委員、自治連三役) (特別委員会) ・まちづくり計画推進委員会 14 ・広報企画委員会 6 ・ふるさと蒲生野川づくり委員会 9 (専門部会) ・ひだまり部会 7 ・ふれあい交流部会 13 ・エコランド部会 5 (他にモニター30) ・あかね部会 7 ・万葉ロマンの里づくり委員会 9 ・地域活性化部会 10 自治会まちづくり委員会 41 蒲生まちづくり会議(県議・市議、自治連、JA、商工会、行政、医療センター、各種団体、コミセン、まち協 他)		
予算等の概要	〈一般会計〉まちづくり総合交付金：4,610千円 / その他：5,210千円 〈特別会計〉コミセン指定管理：38,158千円 / その他：5,062千円		
情報紙の発行	蒲生まち協の広報紙「がまチョコ」 A4版4ページ 毎月20日5,200部発行		
指定管理や組織運営、自治連や各種団体との連携、まちづくり活動などで特にPRできること	年間の事業は、まちづくり計画を軸に、自治会連合会とまち協が両輪となり関係団体、企業等と連携しながら活動を展開している。その上で、 1 自治連との連携強化 自治連・まち協合同研修会を開催 2 蒲生まちづくり会議の開催 蒲生地区の課題解決を図るため県議・市議、自治連、JA、商工会、行政、医療センター、各種団体、コミセン、まち協他が情報共有、意見交換会を開催 3 2030年蒲生の将来を目指し改定した「まちづくり計画書」の具現化を図る 4 「ガリ版伝承によるまちづくり全体構想」を関係団体、行政と協働の方向性を探る 「ガリ版伝承によるまちづくりの会」の開催 「ガリ版プロジェクト会議」の開催 5 「各種団体」間の連携を図る 6 若者視点で蒲生を楽しむ若者を増やすアイデアの見える化を目的とし「がもうミライプロジェクト」の推進を図る		

・指定管理・組織運営・他団体との協働・まちづくり活動等の取り組み紹介

- 1 ・蒲生コミュニティセンターの管理運営を受託  
・ガリ版伝承館管理運営業務を受託

2 《本部事業》

- ・「自治会連合会と研修・学習会」を協働で開催
- ・「蒲生まちづくり会議」の開催
- ・「ガリ版伝承によるまちづくりの会」の開催
- ・「大型金属性資源回収事業」の実施 ・「蒲生地区新年互礼会」の開催
- ・「若者会議」の開催 ・「ガリ版プロジェクト会議」の開催
- ・蒲生西小学校「蒲生の未来を提案しよう！」に参加
- ・地域担当職員、地域応援隊との連携
- ・蒲生医療センターへの協力支援
- ・視察の受け入れ(1団体8名)
- ・高島市「まちづくり講演会」で活動状況発表
- ・「(一社)がもう夢工房」に参画
- ・蒲生地区のイベント・事業に参加協力



【自治連とまち協合同研修会】



【蒲生西小「蒲生の未来を考えよう」】



【ガリ版伝承によるまちづくりの会】

《委員会活動》

- (1)まちづくり計画推進委員会
- ・まちづくり計画の推進(若者定住減少課題)
  - ・まちづくり計画とSDGsの啓発

(2)広報企画委員会

- ・広報紙「がまチョコ」毎月発行
- ・ホームページの更新
- ・スマホで写真撮影会の実施

(3)ふるさと蒲生野川づくり委員会

- ・川づくり啓発活動
- ・日野川および佐久良川モデル地区の「除草作業とゴミ拾い」作業の実施
- ・ふるさと美化「蒲生野の日」(第3土曜日)



【まちづくり会議】



【大型金属性資源回収】

《部会活動》

(1)ひだまり部会

- ・「普通救命講習会」の実施
- ・安心、安全のまちづくり事業 ・命のバトン事業

(2)ふれあい交流部会

- ・まち協音頭、健康体操の啓発
- ・健康相談・食生活相談・血圧測定等の実施
- ・「健康講座」、「親子の栄養講座」の開催
- ・健(検)診啓発・拠り所創造事業へ参画



【新年互礼会】



【除草作業とゴミ拾い】

(3)エコランド部会

- ・健康野菜いっぱい運動 ・コンポストの普及
- ・ゴーヤカーテンの設置
- ・市より生ゴミ減量化推進事業の受託



【コンポスト講習】



【普通救命講習会】

(4)あかね部会

- ・シニア世代の仲間づくり、生きがいづくり
- ・結婚活動支援 ・子育て支援
- ・人口減少対策(先進地視察)



【健康講座】

(5)万葉ロマンの里づくり部会

- ・広報紙がまチョコに「再発見 がもうの話」を連載
- ・歴史ウォークの開催
- ・あいがもけんぶん塾(蒲生コミセンと協働で開催)に協力
- ・マックスクラブ(わくわくチャレンジ探検隊)への参加
- ・「蒲生野・万葉ロマンの会」に参画 ・「(一社)がもう夢工房」と連携

(6)地域活性化部会

- ・特産新品種栽培管理(果樹植栽後の育成管理、収穫)
- ・コスモス栽培による見せる(魅せる)農業の実践
- ・蒲生スマートインター周辺活性化
- ・「(一社)がもう夢工房」と連携



【子育て支援事業】

いつも、いまも、これからも。

PIONEER CITY

# 東近江イズム。 HIGASHIOMISM

地の利、人の和、自然の恵み。  
まちを包むうるおい、にぎわい、ここちよさ。  
時代を変えてきた歴史への誇りを胸に、  
新たな時代を拓く人がいる。  
いつも、いまも、これからも。あなたとともに。

パイオニアシティ・東近江市

## 【東近江市概要】

- 面積 388.37 km<sup>2</sup>
- 人口 112,209 人
- 世帯数 46,366 世帯

(令和 5 年 10 月 1 日現在)



【発行】令和 6 年 3 月

527-8527 滋賀県東近江市八日市緑町 10 番 5 号

東近江市市民部まちづくり協働課 TEL 0748-24-5623 <http://www.city.higashiomi.shiga.jp/>